

緊急プラン(素案)・ゼロ試算に対する市民意見【その他】

No.	種別	意見
8	その他	<p>北大阪急行延伸に財力・労力を注ぐのは止めたほうが良い。 これから人口が減少していく中での電車の延伸は非効率だと思われる。 既存の千里中央・北千里を起点とするバス路線が、萱野中央・北千里をつなぐバス路線になるのも地理的に考えにくく、また、萱野中央、北千里をつながないそれぞれのバス路線とすると効率が悪くなり考えにくいのではないかと。箕面市独自の視点ではなく、これからは千里中央の豊中、北千里の吹田も含めた広域的な視点で考えていく必要があるのではないのでしょうか。そのうえで3市が連携して効率のよい投資をしていく方が良いのではないのでしょうか。</p>
15	その他	<p>ちょっと、趣旨から離れますが、緊急プランの説明会についての意見です。 前回2回目の説明会でもそうだったのですが、市民の質問時間が足りません。市の説明は、前回と同様、全体の方向性などや大雑把な説明で1時間掛けています。出席した市民は、全体より個々の事業について言いたい、質問をしたいと来られているように思います。説明は数字の変更はあっても、ほとんど毎度同じですので、30分くらいで完結するようお願いいたします。そして、もっと質問・要望の時間をとっていただきたいです。また、延々と質問される方がいらっしゃるの、マイクを渡される担当の方は、持ち時間を10分以内にしてもらうよう、最初に依頼すべきですし、また、長引くようなら、途中で終わってもらうよう催促すべきです。そうして、多くの方が発言できるようにお願いします。</p>
16	その他	<p>(67)小野原西公共施設事業の見直しについて この事業は小野原地区区画整理事業に関する裁判の中で和解条件として合意された地域住民との約束ごとであり確実に実行されるよう求めます。</p>
19	その他	<p>住民に関わる大事なことを勝手に決めていいのか？意見を聞いたといっても少数だろう。なぜ緊急プランというなら、緊急プラン対策チームは箕面市中をかけずり回って説明をしない？自民党議員の選挙活動と同じで、その場限りなのか？箕面市内各所での度重なる説明会、それも一方的に訴えるのではなく、意見交換会として市民の意見をたくさん聞いて、それをまとめて対策チームでより良いプランを作っていかなければならないはずだ。 市民の血税で給料をもらっているからこそ、市民のためのプランを練ってもらいたい。自分たちに楽に有利に事を進めることはやめてもらいたい。 何よりもまず、市民の声をたくさん、しっかり聞いて取り上げるべき!!</p>
30	その他	<p>財政が厳しいのであれば、応分の値上げ、費用負担はやむを得ないと思いますが、その分、収入を増やす努力が必要だと思う。企業の誘致、雇用の創出によって、市の収入を増やす、家計の収入を増やしていけば、負担が増えてもやりくりできると思う。値上げの話ばかり先行するので、市民の理解を得られないのではないかと。パイの切り方の議論ばかりでは民主党政権の言っていることと同じで、成長戦略がない。パイを増やす議論、そのために何が必要になるのかを示し、コンセンサスを得るのが政治と思う。新町、彩都の大規模開発ではなく、観光、農業ゆず、大学高校のレベルアップ(優秀な子どもが集まり、定住する)。人を集める政策が必要。住みにくい町からは人はどんどん出て行ってしま(デトロイトのように)。</p>

No.	種別	意見
48	その他	<p>【意見1】歳出改革(経常)メニュー3. 補助金 (45)コミュニティー振興費補助金 地域交付金に再編し、平成23年4月に1割削減 地域の实情に応じて使い道を決めるというが、「どういう基準を元に」地域の实情を見定め、どう いう「割合」で分配するのか、それを「誰が」判断するのか明確なビジョンがある上での地域補助 金の統合の提案でしょうか。 そのビジョンなく地域でそれぞれ使い道を決めるというのは、自治会、敬老会、子ども会という3 つの補助金に対するそれぞれの地域団体が、運営方法、設立目的、活動内容、さらには主体と なる構成員も異なる団体である以上、お金の使い方、分け方などをめぐって地域でもめる原因を つくり、地域コミュニティーの形成が円滑にできなくなります。 箕面市子ども会育成協議会(略称:こ育協)にいただいている補助金は、市の財政状況に合わ せ、一定の補助金削減も受け入れつつ、平成18年度には、社会教育団体補助金から子ども会活 動促進事業補助金として、運営費補助から事業費補助に整理されてきたところです。また、この 補助金は「校区子ども会」の活動で使う費用のほか、市内全体の中央行事(イベント行事や研修) にも使う費用があるため、地域に分配されるという地域交付金とは性質が異なると考えます。 近年、子ども会における単位子ども会数と会員数は減ってきているのが現状です。平成21年度 は55単位、1,692人で24.2%の組織率です。それでも、市内の子どもを取り巻く団体で任意加入にも かわらず、この時代においてもこの組織を結集できているのは、市からの協力があるからだ と非常に感謝しております。 組織率の低下の原因となる要素の一つには、親の価値観の変化、子どもの趣味の多様化か ら、子ども会の役員をしたくない親が子どもを子ども会に入らせないという問題もあり、課題がある ことは十分認識しています。こ育協では、地域とのつながりを大切に思う人たちが、今の時代に見 合った子ども会活動を進めていくためにはどうしたらよいのか活動を見つめ直し、行事の統合、校 区の役員の負担減、定例会議の縮小など、常に模索しながら活動をしているところです。</p> <p>そのような中で、交付金化すると各小学校区内で活動している役員の負担が増えるのは予測で き、また、地域の中で、まだ若い世代の母親を中心とし、毎年交代する役員では、自治会等の自 分より年上である年齢層の方たちに対しての意見を安易に言えない状況下になることが予測され ます。このことが原因となって、ますます役員の担い手がいなくなり、子ども会の活動を円滑に進 めることができなくなると考えます。ひいては、子ども会活動のみならず、地域コミュニティーも成り 立たなくなります。よって、この地域交付金化に、子ども会活動促進事業補助金を含めることは反 対です。</p> <p>【意見2】歳出改革(経常)メニュー. 2事務事業 (23)集団回収団体への報償金の見直し 回収量 が減少しているため、子ども会活動への影響を考慮して、減額を見送り。(30)公園・道路などの施 設維持補修費の削減 アドプト制度を見直し、交付金制度に再構築 公園灯・街路灯を見直し、 電気料金を削減 それぞれの地域で活動している各単位子ども会の収入は、各家庭から集める会費の他は、再生 資源集団回収や公園清掃の報償金、自治会からの援助で成り立っています。 集団回収については、ほとんどの単位子ども会で活動として取り組んでいますので、見送りとい う変更にしていただけたことは、非常にありがたく思っております。 一方、公園清掃については、単位子ども会数では半数弱が活動していますが、報償金の受領 は、直接単位子ども会に入るところと、自治会と合同で行っていることを条件に自治会から援助金 としているところがあります。交付金制度でポイント制になると、単位子ども会で担当できそうな ところは公園清掃のポイントあたり20円の作業にあてはまり、そうなれば、現行の制度の報償額か ら半額近く減額するところも出てくる状況も理解していただきたいです。</p> <p>【意見3】歳出改革(経常)メニュー. 4特定財源 (53)公共施設貸館使用料の改定 維持管理費の 面積単価で基準を設定し、平成22年10月から適用。 基本現行の1.5倍という設定は、定期的な集会、大きな行事を行う子ども会にとっては、大きな負 担となりますので、料金改定は見送っていただきたいです。</p>

No.	種別	意見
82	その他	<p>「北大阪急行延伸の凍結し、北急延伸基金の27億円の取崩をしてはどうか？」</p> <p>12月9日の西南公民館の説明会に参加しました。そこで、北大阪急行の延伸につき、凍結すべきでは？との意見が出ていましたが、私も賛成です。北急延伸基金27億円のお金が貯まっているとのことですが、一般会計が大変なのであれば凍結宣言をし取り崩すべきではないでしょうか？それとも、一般会計が足りなければ、自然に取り崩すことになるか？他、大阪府も出しているのであれば返せばいい。説明会では、北大阪急行の話は、箕面市だけの問題ではなく大阪府も絡んでいるとのことでしたが、今の橋下知事であれば、地方主権を唱えられているかたなので箕面市が凍結を言い出せば、テーブルにはつくと思います。この基金を取り崩さず、市民には我慢をさせ、一方採算が合わない、乗降客も予定より少ない線を作るなんて、まるでどこかの大臣発言ではないですが「母屋(一般会計)でおかゆを食っているのに、離れ(特別会計)で子供がすき焼きを食っている」状態なのではないでしょうか？ 以上</p>
102	その他	<p>・国民健康保険料の再度の値上げは、絶対止めてほしい。今年の8月には平均7%の値上げと通知があり驚いたのに、さらに来年度も値上げをするのはもっての外と言えます。不要不急の開発投資を中断して、市民の暮らしを守るのが市の行政の要と考えています。</p> <p>・各種会館の使用料の値上げが提案されていますが、生涯学習として館を利用しており、他市と比較して安いからと安易に値上げは、箕面市に住んで良かったと言えることがどんどんなくなっており、中止すべきと考えます。</p>
111	その他	<p>駐車場の有料化は、市役所のまわりには有料駐車場がないので路上駐車が増えるのではないかと。</p> <p>検診料の自己負担の設定は生活困難の人の受診控えに連なり重症化してからの受診では結果として医療費が増えることになる。目先の財政抑制が長期的には財政を圧迫するので予防、早期発見早期治療が重要 沢内村の教訓を学ぶべきではないかと。</p> <p>バス交通サービスについて片道100円のバスを巡回させることで地域が活性化し、介護予防に連なる。バスを無料、低料金にすることで鉄道利用者も増えるので私鉄の営業をおびやかすことにもならないし地元商店街の活性化も図れる。安い阪急電車を利用するまでのバス代が高すぎる。待ち時間も20分～30分でないとう家用車の利用が増える。トンネル料金を下げた経験をバスにも活用して欲しい。全住民が100円で乗れるようにする方が環境にも良い。</p> <p>森町・・・人口減少の折住宅需要は下がっている(今年は12区画の売買契約と聞いている)森町の街づくりにも空地が多すぎると悪影響がでる(地域の治安、活性化にマイナス)固定資産税で回収するのに何年もかかることが公にされていない</p>
165	その他	<p>今、箕面市に住んでいる人々のくらし、教育、健康を中心にする政策を最優先にする政策をとることが市政に求められています。だから、開発などにかかる財源を得るため、そのような政策の実行のための予算を削ることは「住みよい町」みのおの市民として絶対してはならないことです。私は50年以上みのお市に住んでいます。市のモットーや市歌で理想とされた「人々が助け合う町に」からだんだん遠のいていくように思います。</p> <p>生活、福祉を大事にする政策を進めて下さい。市税を払っているのは、現に生きている市民だからです。</p>
166	病院	<p>市民病院は市民の宝です。たとえ赤字になっても、採算性だけではなく、市民の命を守る所になってください。税金はそのために使ってほしいのです。開発のためや、ある教育理念の追求のためにお金を使う前にしてほしいものです。人が助け合う町になってほしい。</p>
167	その他	<p>今宮4丁目から見る彩都の開発は山の上まで登りました。こんな開発に多額の資金をつぎ込んで市民生活に関するものは緊急プランでけずるなんて困ります。まず開発の事をもっと検討すべき事だと思えます。彩都開発で小中一貫校61億円国文4号線41億円これこそ見直すべきものです。</p>

No.	種別	意見
170	その他	<p>福祉予約バスの見直しについて 見直し時期がH22.10に前倒しになり、来年度予算に計上される予定であるが、見直しの内容については利用者・関係者にも一切示されていません。これまでは「市内バス路線網の整備・充実、公共施設巡回福祉バス(Mバス)のあり方検討の動向を踏まえ、福祉有償運送やその他の移動支援サービスと併せて、今後の事業のあり方について、平成23年度に向けて研究・検討をしていきます。」となっていました。どのような研究・検討がなされたのでしょうか？全く見えません。このような状態で来年度に新制度を実施するのはゼロプランの趣旨からも大きく逸脱しており、やり方に大きな問題があります。拙速です。早急に具体的な見直し内容を市民、特に利用者やその関係者に明らかにし、意見を聞くべきです。経費を削減するのであれば、それなりに知恵を絞る、汗をかくべきです。市独自の制度でありながら、これまで課題の多い福祉予約バスを放置し、今になって十分な検証・議論もないままに「近隣他市並のサービスに引き下げ」というのであれば、市民としては全く納得できません。利用者の生活を第一に考え、幅広い視点から、見直しのための検討をして下さい。</p> <p>予算2分の1カットはあまりにも大きすぎます。利用対象者を狭めたり、利用者に負担を求める前に、利用者の生活状況などを十分に把握するべきです。年金が頼りの多くの高齢者・障害者にとって、費用負担増が家計を大きく圧迫するのは明らかであり、利用抑制を強いることになり、そもそも移動困難者の多くは、交通弱者であり、バス・電車などの公共交通機関が十分に使えないために、結果として費用のかかるタクシーなどを利用せざるを得ないという状況下にあります。公共交通機関と比較して過大な利用負担を強いるのは明らかに不平等だと考えます。また、高齢者・障害者等が通院や通所などの外出機会が制限されることは、結果として障害や病気の進行を早める一因となり、将来的な医療費・福祉サービス費の増大にもつながるといことも念頭に置く必要があります。</p> <p>現行の福祉予約バスが飽和状態にあり、予約も取りづらいといわれますが、新たに利用者が費用を負担したとして、供給主体が十分確保できるのか、利便性が十分に担保されるのか、具体的な検証をし、説明を行ってください。</p> <p>この分野での大阪府下の各自治体の取り組みは極めて遅れており、箕面市にとっては、むしろ、首都圏の自治体でコミュニティバス、タクシー、NPOによる個別移送サービスなど、行政がこれらをニーズに応じ重層的に条件整備している事例などが参考になると思います。これからの高齢化に対応していくためにも、今後、行政・市民・事業者の協働が必要な分野であり、地域性を重視した、柔軟な取り組み姿勢を行政に求めます。</p> <p>障害者福祉作業所運営補助金の削減について H22～の1割削減について、反対します。特に事業所化を目指すことになる作業所にとっては、収益を大きく拡大していく必要があり、移行が困難になってしまいます。それぞれの団体の新たな移行を支援するのであれば、1割削減は矛盾しています。</p>
182	その他	<p>番号7・人件費の見直しについて) 市の職員の方々にも生活があり、減額は苦渋の決断であることと思います。 ですが、給与所得者の平均が約430万円の現在、平均で700万円近くになる市の職員の給与水準は、改革を実施してもなお、高水準といわざるを得ません。 他の多くの市民の方々にも生活はあります。改革プランでは、大変に世知辛い項目も並んでいます。大変に心苦しいことではありますが、公平性の観点から言えば、給与・手当でのカットはより大幅に行っていただくべきではないでしょうか？ 昨今の民間の雇用事情を鑑みれば、倒産や解雇が(原則として)ないということは、他の立場で働く人びとと比較して大変に恵まれた待遇であるということもできます。その有利さを考慮すれば、仮に10%程度のカットがあったとしても、他の立場の人びとに比べて特段に不遇だとはいえないのではないのでしょうか？ 「緊急」の覚悟を知らせるためにも、ぜひご一考をお願いします。</p>